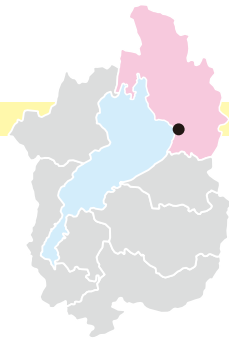


# 12 市立長浜病院



所在地 長浜市大戌亥町313  
 開設者 長浜市長  
 開設年月日 昭和19年6月25日  
 病院長 高折 恭一

|  |   |   |
|--|---|---|
| <b>病床数</b><br><b>541 床</b>                             | <b>外来患者数</b><br><b>806 人</b><br><small>(1日平均)</small> | <b>入院患者数</b><br><b>286 人</b><br><small>(1日平均)</small>     |
| <b>医師数</b><br><b>85 人</b><br><small>男性77人 女性8人</small> | <b>指導医数</b><br><b>35 人</b>                            | <b>臨床研修医数</b><br><b>12 人</b><br><small>男性11人 女性1人</small> |

|                   |             |             |              |              |                   |
|-------------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------------|
| <b>基本19領域診療科目</b> | <b>内科</b>   | <b>小児科</b>  | <b>皮膚科</b>   | <b>精神科</b>   | <b>外科</b>         |
| <b>整形外科</b>       | <b>産婦人科</b> | <b>眼科</b>   | <b>耳鼻咽喉科</b> | <b>脳神経外科</b> | <b>放射線科</b>       |
| <b>麻酔科</b>        | <b>病理</b>   | <b>臨床検査</b> | <b>救急科</b>   | <b>形成外科</b>  | <b>リハビリテーション科</b> |
|                   |             |             |              |              | <b>総合診療</b>       |

## 病院の アピールポイント

院長 高折 恭一

長浜市は、秀吉公が長浜城の城下町として整備し、琵琶湖水運の要衝として発展してきた風光明媚な地域です。隣接の米原市とともに、琵琶湖の北東部を占める人口約15万人の湖北保健医療圏を形成しています。新幹線を使えば京阪神へのアクセスは非常に良好です。



市立長浜病院は湖北保健医療圏の基幹病院で、高度急性期から、急性期、回復期、慢性期の患者すべてに対応しています。地域がん診療連携病院に指定されており、専門的ながん治療を提供する一方、滋賀県で初めて脳卒中ケアユニット（SCU）を設置して救急診療にも注力しているほか、血管造影撮影装置を増設し、より高度な医療を提供できるようになるなど多種多様な疾患を診ることができます。研修医の自主性を重んじた研修プログラムを組んでおり、地域医療・在宅医療を含めて幅広く学ぶことができます。

研修の2年間で特に学んでほしいことは、医療人としての基本となる、メディカルスタッフとの協調性と患者さんに対する誠実性、そして謙虚に反省して明日の成長へとつなげることができる能力です。

研修医の皆さんが、当院に新たなエネルギーを吹き込んでくれることを期待しています。

研修医 中村 亮太

昨年4月に長浜に移り、当院での研修生活が始まって既に一年が経ちました。右も左も分からない状態からスタートし、様々なメディカルスタッフの皆様の指導の下、少しでもこの地域医療に貢献できるように日々研鑽を積んできました。



この一年間の研修医生活で感じた当院における研修のメリットは、研修医の要望に対して出来るだけ柔軟に対応してもらえることです。これにより研修医は自らの進路と十分に向き合うことのできるカリキュラムで研修することができます。また、当院以外に滋賀医科大学・長浜赤十字病院・彦根市立病院・近江八幡市立総合医療センター等で研修をする機会があるため、普段と異なる環境で手技や医学的知識を学んだり、他病院の研修医と情報を交換し合うなど貴重な繋がりを持つことも出来ます。さらに、長浜は古くからの交通の要所ということもあり、週末や連休などに新幹線を使えば大阪・京都や名古屋にもアクセスしやすく、北陸新幹線が延伸されたため、福井、金沢にもアクセスしやすくなり、冬には伊吹山でスキーなど、休日余暇を楽しむことができます。是非一度、見学に来ていただければと思います。

何事にも協調して誠実に取り組み、  
元気な病院を築ける方を求めます

救急医療と、全人的なプライマリ・  
ケアを重視した研修ができます

### 研修プログラムの目的、特徴

#### 【目的】

“医の原点”とも言うべき救急医療と、全人的なプライマリ・ケアを重視した初期研修の場の提供と人材育成

#### 【特徴】

- 1年目は基本研修科目とし、救急医療とプライマリ・ケアに必要な知識と技術の習得を重視した研修を行います。
- 選択科目(最長11か月)は原則として基本研修科目、必修研修科目をさらに深く研修するため、または研修が不十分と判断された科目の再履修にあてます。ただし、希望があれば、他の専門領域の選択も可能となり、自主プログラミングをすることで、研修医の自主性を尊重できる研修を実施しています。

- 選択科目においては、希望する診療科、研修期間など、研修医の将来の希望に応じた研修スケジュールを最大限尊重するように組んでおり、自由度が高いと同時に、自主性を重視しています。
- 月4回程度の宿日直研修では、研修医が担当する割合が大きく実践的な研修を行えるなかにも、上級医の監督・指導の下(2年目研修医はファーストコールを任せられる)で知識や手技を的確に習得できます。
- 地域の基幹病院としての充実した設備の下、多彩な選択領域のなかで幅広い症例や疾患を経験することができます。
- 研修医教育のための勉強会を多数用意。スキルアップを目的とした多彩な研修会を通じて、自己研鑽を奨励します。

### 研修スケジュール例

|         |      |         |    |     |      |     |
|---------|------|---------|----|-----|------|-----|
| 1<br>年目 | 24週  | 12週     | 4週 | 4週  | 4週   | 4週  |
|         | 内科   | 救急 ※1   | 外科 | 小児科 | 産婦人科 | 精神科 |
| 2<br>年目 | 4週   | 48週     |    |     |      |     |
|         | 地域医療 | 選択科目 ※2 |    |     |      |     |

※1 4週まで麻酔科可。

※2 外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療は8週以上が望ましい。一般外来4週以上を含む(8週以上が望ましい)。

### 研修協力病院、研修協力施設

セフィロト病院(精神科)、滋賀医科大学医学部附属病院、長浜赤十字病院、湖北保健圏域の診療所、近江八幡市立総合医療センター、彦根市立病院

### 募集要項

- [募集人数] 6人
- [試験日程] 令和8年8月予定(決定したいホームページにてお知らせします)
- [選考方法] 面接
- [処遇] 1年次466,000円/月[年収約560万円]  
2年次650,000円/月[年収約780万円]  
\*年収ベースで月額に換算し、月額には諸手当(通勤手当、時間外勤務手当、期末手当(賞与))、家賃負担分を含む
- [社会保険] 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- [宿舎] 2LDKアパート(自己負担額:20,000円)、一戸建てあり

#### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

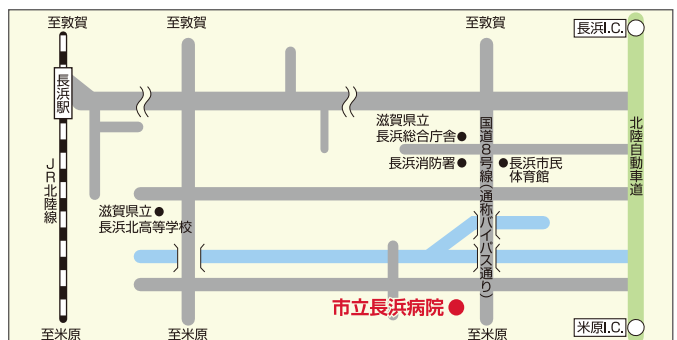
など



### 応募連絡先

#### 市立長浜病院

- [所在地] 長浜市大成亥町313  
● J R長浜駅 バス10分  
● 北陸自動車道 長浜、米原IC 10分
- [担当部署] 総務課
- [電話] 0749-68-2324
- [FAX] 0749-65-1259
- [E-mail] nch-soumu@city.nagahama.lg.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病院 大津赤十字
- ③ 滋賀医科大学 附属病院
- ④ J C H O 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療 センター
- ⑥ 滋賀県立 総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立 総合医療センター
- ⑩ 東近江総合 医療センター
- ⑪ 彦根市立 病院
- ⑫ 市立長浜 病院
- ⑬ 長浜赤十字 病院
- ⑭ 高島市民 病院